

ITSUKA

心に寄り添い、命を支える



清風会

SEIFU HEALTH CARE GROUP

社会医療法人 清風会
五日市記念病院



〒731-5156 広島市佐伯区倉重1-95 TEL.082-924-2211 FAX.082-924-8111

特集：あきらめない治療 ～希望を支える血液内科～



血液内科病棟での院内コンサートの様子

『 あきらめない治療 ～希望を支える血液内科～ 』

五日市記念病院 血液内科 科長 医師 許 泰一



～治療の特色について～

血液疾患は案外、緊急性が高く、速やかに且つ正確に診断し早急に治療を行う事が治癒率に大きく貢献します。そのため月曜日から土曜日の午前まで毎日夕方まで外来をオープンしています。20床の無菌室と11床の外来化学療法室を稼働し、より多くの患者さんを受け入れています。治せる疾患は確実に治し、治療困難な症例も元気な時間を多くもてるように工夫を行い、独自に開発した化学療法と新規の分子標的薬を有効に組み合わせて治療効果を高めています。感染症対策、輸血、化学療法を安全に丁寧に扱い治療率の向上、生存期間の延長を目指しています。

医師紹介

1977年広島大学医学部卒業。1983年から広島赤十字・原爆病院に勤務、血液腫瘍治療センター長などを歴任。2017年より当院にて勤務。
日本血液学会功労会員。

～治療の実績について～

論より証拠。別表にこの1年間に診断、治療を行った症例を示します。急性骨髄性白血病は30例。15例は完全寛解を維持し社会復帰し経過観察中。14例が寛解導入療法を行い13例(92%)が完全寛解、1例が部分寛解、現在11例が治療継続中で生存し、3例が亡くなりました。急性リンパ性白血病は2例とも完全寛解を維持し、慢性骨髄性白血病は56例で39例(70%)がほぼ治療し無治療で経過観察中。17例はチロシンキナーゼ阻害剤服用し外来通院中。皆さんお元気です。



外来化学療法室の模様

最近1年間の診療患者数

(2025年6月から2026年5月末)

疾患名	症例数
急性骨髄性白血病	30
急性リンパ性白血病	2
骨髄異形成症候群	71
慢性骨髄性白血病	56
骨髄増殖性症候群	30
多発性骨髄腫	9
Mタンパク血症	24
特発性血小板減少性紫斑病	21
VB12欠乏症	11
貧血その他の血液疾患	61

骨髄異形成症候群71例。45例がアザシチジンによる化学療法、22例がエリスロポエチン製剤の皮下注、4例は血液所見異常軽微で経過観察中。80%以上の症例の血液所見が改善し急性骨髄性白血病に移行せずに経過されました。皆さんお元気ですが、90歳を超えた3人の方が肺炎で死亡されました。多発性骨髄腫9例。8例が抗CD38抗体の皮下注で完全寛解、1例はCD38抗体耐性例。プロデアソーム阻害剤で完全寛解を達成。多くの方は発症時多発骨折があっても、そこから復活して元気になれます。24例の多発性骨髄腫予備軍のM蛋白血症、経過観察中。骨髄増殖性症候群やITPも多く紹介されます。

～当院へのご紹介を～

様々な貧血に重大な疾患が隠れています。マクログロブリン血症や寒冷凝集素症、血球貪食症候群、伝染性単核球症など、すぐに見当がついて悦に入ることありますが、パルボウイルス感染による貧血に気づかず、ひどく落胆します。でも日々これ精進です。ITPでは勝谷先生、多発性骨髄腫では板垣先生など古巣の広島赤十字原爆病院の優秀な先生のアドバイスも頼もしい存在です。＜良い血液内科医＞がいる当院に是非ご紹介してください。



無菌室での治療

『 安全な薬物治療について 』

臨床薬剤科 奥本 絵美

臨床薬剤科では安全に患者さんへの治療が行えるよう、日々使用される薬の薬物相互作用を確認したり、化学療法委員会等で抗がん剤の投与スケジュール(レジメン)の検討を行ったりしています。薬をしっかりと決められた用法用量で服薬することは、血液内科の治療において重要です。投与される薬の説明を行ったり、副作用等の症状が出ていないかの確認をしたりすることで、患者さんが安心して治療に専念できるように努めています。

『 迅速かつ正確な検査をめざして 』

臨床検査科 松山 由美

検査結果は、診断から治療効果の判定、再発の早期発見に至るまで、重要な役割を担っていることもあり、迅速かつ正確な検査データが提供できるよう努めています。輸血を行う患者さんも多く、当院では県内でもトップレベルの輸血件数があります。全ての患者さんに安心安全な輸血が提供できるよう24時間365日検査体制を整えています。

『 食事の対応について 』

臨床栄養管理科 竹廣 聡美

化学療法などの治療により免疫力が低下する患者さんに対し、感染予防を目的とした「無菌食」を提供しています。食事内容や調理方法等、衛生管理を徹底し、安心して食事を摂取していただけるよう努めています。また治療の影響による食欲低下や味覚の変化に配慮し、患者さんご自身で食べたいメニューを選択できるを実施を食します。主食・主菜・飲みもの・デザートの中から希望に応じて選択していただくことで食事摂取量の維持・向上を図り、栄養確保を支援しています。

お名前、希望日をご記入のうえ、希望されるメニューにチェックを入れてください。

お名前	希望日	月	日	口昼食	口夕食
※主食※ 1つ選択	※主菜※ 2つまで選択	※飲料※ 1つ選択			
☐ ご飯	☐ カレー	☐ 牛乳			
☐ お粥	☐ クリームシチュー	☐ 野菜ジュース			
☐ パースト粥	☐ お好み焼き	☐ りんごジュース			
(口梅びしお 口のり佃煮)	☐ 親子煮	☐ 飲料なし			
☐ 食パン	☐ 冷や奴	※デザート※ 1つ選択			
☐ クロワッサン	☐ 卵豆腐	☐ フルーツ缶			
☐ 冷やし蕎麦(口具あり 口具なし)	☐ お吸い物(松茸風味)	☐ プリン			
☐ 温うどん(口具あり 口具なし)	☐ コーンスープ	☐ フルーツゼリー			
☐ ちらし寿司	☐ 主菜なし	☐ コーヒーゼリー			
☐ ミートスパゲティ		☐ 水ようかん			
☐ 主食なし		☐ ヨーグルト			
		☐ デザートなし			



当院で行っている化学療法の治療内容はHPから確認いただけます。



許医師ほか当院スタッフのインタビュー動画はオフィシャルYouTubeチャンネルから視聴いただけます。